

インフルエンザ流行発生注意報発令！

～川崎市市内におけるインフルエンザ流行状況～

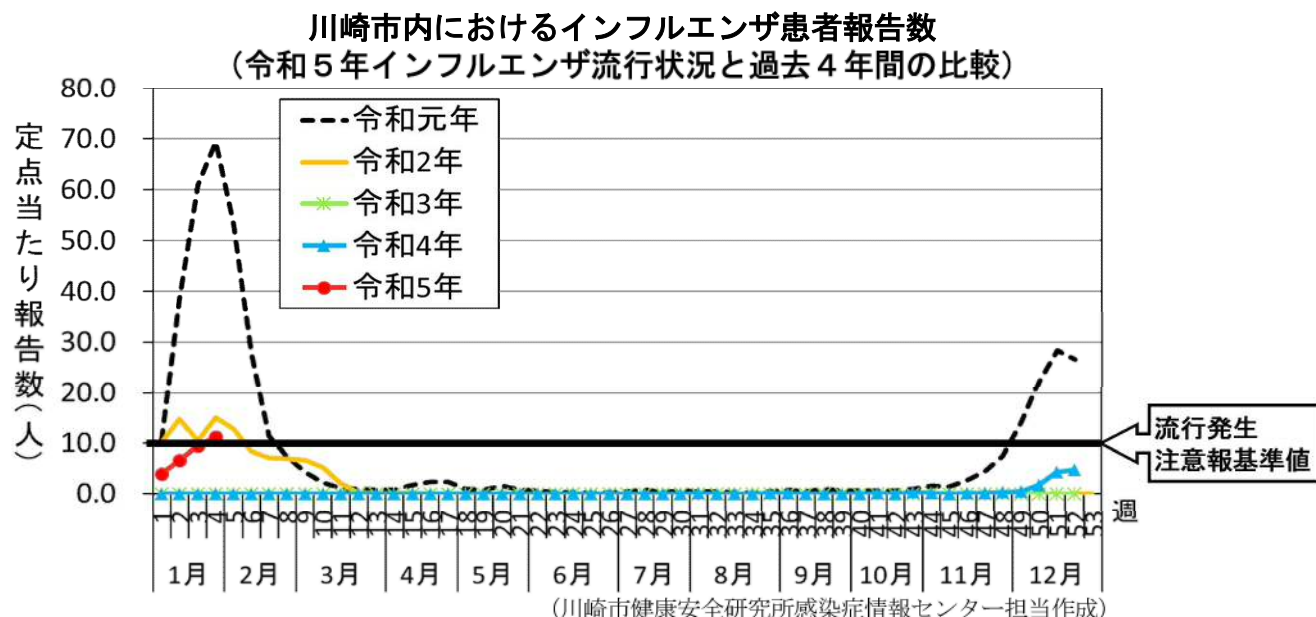
川崎市では、毎週61施設のインフルエンザ定点医療機関から患者の発生状況を報告いただき、市内のインフルエンザの発生動向を把握・分析し市民の皆様に情報提供を行っています。

令和5年第4週（集計期間：令和5年1月23日～令和5年1月29日）のインフルエンザの患者報告数が流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超え、定点当たり11.30人となったため、流行発生注意報を発令します。

今後、市内においてインフルエンザの大きな流行が発生することが推測されますので、別添リーフレットを参考にインフルエンザに「かからない、うつさない」ために一人ひとりが予防を心がけましょう。

1 本市におけるインフルエンザ流行状況

本市では、今シーズンの感染症発生動向調査において、令和4年第50週にインフルエンザの流行の目安となる定点当たり患者報告数10.00人を超えたところですが（定点当たり1.64人）、令和5年第4週に定点当たり11.30人となったため、本日、流行発生注意報を発令しました。注意報の発令は3シーズンぶりとなります。



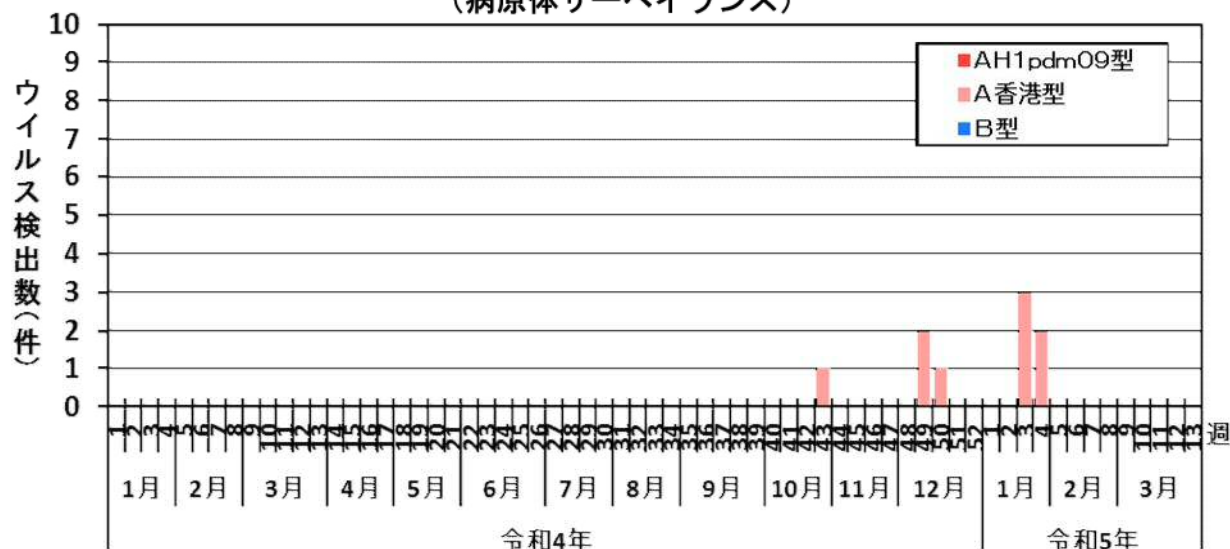
2 本市におけるインフルエンザウイルス検出状況

感染症発生動向調査では、市内16箇所の病原体定点医療機関から検体の提供をいただき、インフルエンザウイルスの検査を行い、流行しているインフルエンザウイルスの型の把握を行っています。

今シーズンの検体提供数は17件であり、そのうち9検体からインフルエンザウイルスが検出され、全てA香港型でした。

※令和5年1月31日結果判明分まで

川崎市内におけるインフルエンザウイルス検出状況
(病原体サーベイランス)



(川崎市健康安全研究所感染症情報センター担当作成)

3 過去のインフルエンザ流行発生注意報発令日及び基準値超過週（平成28年度以降）

平成28年度：平成28年12月28日（平成28年第51週）

平成29年度：平成29年12月27日（平成29年第51週）

平成30年度：平成31年1月9日（平成30年第52週）

平成31年度：令和元年12月11日（令和元年第49週）

《問合せ先》

川崎市健康福祉局保健医療政策部

感染症対策担当 野木

電話 044-200-2446

ウイルスを撃退して

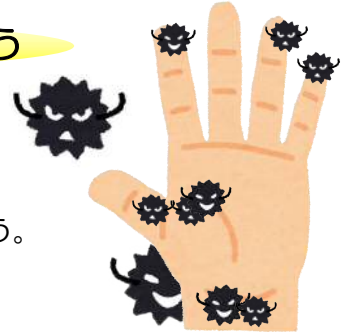
インフルエンザを予防しましょう！

川崎市内でインフルエンザが流行しています。

インフルエンザに「かからない、うつさない」ために、正しい衛生習慣を身につけましょう。

外出から帰ったら、必ず、手洗い、うがいをしましょう

- ◆ ウイルスは目に見えないため、どこについているかわかりません。外出したら、必ず石けんで手洗い・うがいをしましょう。
- ◆ 洗っていない手で、目や鼻、口を触らないように習慣づけましょう。
- ◆ 洗った手は清潔なタオルやペーパータオルで拭きましょう。



人にせきやくしゃみをかけない「せきエチケット」を身につけましょう

- ◆ せきやくしゃみが出たら、
 - ・他の人にうつさないようにマスクを着用しましょう。（口だけでなく鼻もおおきましょう）
 - ・マスクを持っていない場合は、他の人から顔をそらし、ティッシュなどで口と鼻をおおきましょう。
- ◆ せきやくしゃみを手でおおったら、手を石鹸で丁寧に洗いましょう。
- ◆ 鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐゴミ箱にすてましょう。



ワクチン接種を受けましょう

- ◆ インフルエンザにかかった場合の重症化を防ぐ効果が期待できます。接種から2～3週間で効果が現れますので、できるだけ早い接種をおすすめします。



空気環境やふだんの健康管理に注意しましょう

- ◆ 部屋は適切な湿度を保つようにしましょう。（湿度50%～60%程度）
- ◆ 定期的に換気をよく行いましょう。
- ◆ 十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。



なるべく人混みへの外出は避けましょう

- ◆ インフルエンザが流行してきたら、不要不急のときはなるべく、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
- ◆ 発熱や関節痛等のインフルエンザが疑われる症状があるときは、無理をして学校や職場には行かず、早めに医療機関を受診しましょう。

